

# 山田中学校屋内運動場空調設備整備事業 公募型プロポーザル方式評価要領

## 1 評価要領の位置づけ

本要領は、山田中学校屋内運動場空調設備整備事業における受注者を公募型プロポーザル方式によって特定するにあたり、その評価方法及び評価基準を示すものである。

## 2 評価方法

### (1) 審査

ア 審査は、「山田中学校屋内運動場空調設備整備事業プロポーザル方式実施委員会（以下、「実施委員会」という。）」において実施する。

イ 実施委員会は7人の委員で構成し、各委員の評価点、実施委員会の合計評価点（満点数）及び合計評価点の最低基準点は以下のとおりとする。

区 分	評価点数	備 考
各委員の評価点	180 点	
実施委員会の合計評価点	1,260 点	7人×180点
最低基準点	875 点	合計評価点の70%

### (2) 審査資料

ア 資格確認

参加資格確認申請書類により、参加者が参加資格要件を満たしているかどうか実施委員会事務局において確認する。満たしていない場合は失格とする。なお、提出された書類に疑義がある場合は、参加者に対して、内容の確認及び追加資料の提出を求める場合がある。

イ 提案書による審査

参加の意思表示をした者のうち、提案書の提出を要請した者から提出された提案書及び資料（以下「提案書等」という。）の内容を確認する。

なお、提案書等を提出した者が1者であっても審査を実施するものとする。

(ア) 見積価格の確認

参加者が提出する見積書に記載の見積価格が、予算上限額を越えてないことを確認する。見積価格が提案上限額を越えている場合は失格とする。

(イ) 要求水準の達成確認

事業提案内容が要求水準を満たしているか確認する。事業提案内容が明らかに要求水準を満たさない場合は失格とする。

### (3) プレゼンテーション及びヒアリング（以下、「ヒアリング等」という。）

提案書等を基に応募者から企画提案を受ける。（提案時間：20分以内（質疑応答を除く））

なお、提案書等を提出した者が多数あり、受注者の特定に著しい支障が生じると認められる

ときは、評価基準に基づき提案書等の事前評価を行い、評価基準を満たした提案書等についてのみ、ヒアリング等を実施することがある。この場合の満たすべき評価基準は、必要に応じて実施委員会で決定する。

(4) 評価

別紙「山田中学校屋内運動場空調設備整備事業プロポーザル方式評価基準」(以下「評価基準」という。)の評価項目、評価の着眼点の区分ごとに提案書等及びヒアリング等により評価する。

(5) 質問

企画提案説明の終了後、提案書等及び企画提案説明等により評価が不明な場合は、判断基準の記載項目を参考として質問する。

(6) 採点

企画提案者の退出後、各項目の配点に基づき、当該評価点数を採点表の「採点」の欄に記入する。

なお、審査項目に対する評価基準及び評価点数は以下のとおりとする。

ア 評価基準1～6の評価点数

評価基準	評価点数			
	配点 5 点	配点 10 点	配点 15 点	配点 20 点
極めて評価できる	5 点	10 点	15 点	20 点
評価できる	4 点	8 点	11 点	15 点
普通	3 点	5 点	7 点	10 点
やや評価できない	1 点	2 点	3 点	5 点
評価できない	0 点	0 点	0 点	0 点

イ 評価基準7の評価点数

見積価格	評価点
・最低見積価格以上 ・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×1/5)未満	10 点
・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×1/5)以上 ・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×2/5)未満	8 点
・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×2/5)以上 ・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×3/5)未満	6 点
・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×3/5)以上 ・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×4/5)未満	4 点
・(最低見積価格+(契約上限額-最低見積価格)×4/5)以上 ・契約上限額以下	2 点

**(7) 集計**

ヒアリング等終了後、各選定委員の採点表を取りまとめ、審査基準により「採点集計表」を作成する。

なお、「プロポーザル方式説明書」3（4）ケに該当する場合は、50点を減点する。

**(8) 受注者の特定**

採点集計結果により、最低基準点を満たしている合計評価点が最高の者を受注者に特定する。

なお、最高評価点が同点の場合は、提案価格が低いものを優位とし、評価点及び提案価格が同値の場合は、くじ引きにより受注者を特定する。

### 3 山田中学校屋内運動場空調設備整備事業プロポーザル評価基準

評価項目		評価の着眼点	判断基準	配点
1 技術提案	85点	(1) 空調方式の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の空間特性（高天井・大空間）を踏まえた方式となっているか。</li> <li>・冷暖房能力の算定根拠が合理的か。</li> <li>・部分負荷運転への配慮があるか。</li> <li>・風の影響を受けやすい競技への配慮がなされた内容となっているか。</li> <li>・将来更新や拡張性に配慮しているか。</li> </ul>	20点
		(2) 防災機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所利用を想定した運転計画となっているか。</li> <li>・停電時の対応方針が示されているか。</li> <li>・災害時の早期復旧に配慮しているか。</li> <li>・機器の耐震性、安全性に配慮しているか。</li> </ul>	15点
		(3) 配置・配管計画の合理性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用、動線、景観に配慮しているか。</li> <li>・保守点検スペースが確保されているか。</li> <li>・配管、配線計画が整理され、維持管理性に配慮されているか。</li> </ul>	15点
		(4) 省エネ・環境配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー消費低減効果が見込めるか。</li> <li>・高効率機器の採用提案があるか。</li> <li>・CO2削減や環境負荷低減への配慮があるか。</li> <li>・ランニングコスト低減への工夫があるか。</li> </ul>	10点
		(5) 騒音・防振対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室外機の設置環境を配慮しているか。</li> <li>・体育館利用時の騒音影響に配慮しているか。</li> <li>・防振・共振対策が合理的か。</li> </ul>	10点
		(6) 既存設備との整合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存電気設備容量との整合が図られているか。</li> <li>・既存設備への影響が最小化されているか。</li> <li>・既存施設との接続・切替計画が合理的か。</li> </ul>	10点
		(7) 自由提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、利便性がある提案や学校関係者及び施設利用者にとって、安全安心な環境となる提案がなされているか。</li> </ul>	5点
2 事業計画	10点	(1) 事業計画・事業体制の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の目的や背景を十分に理解した基本方針となっているか。</li> <li>・設計施工一括発注方式の特性を踏まえつつ、効率的かつ効果的な業務推進体制が構築されているか。</li> <li>・事業者内の協力体制が明確になっているか。</li> </ul>	5点
		(2) 事業スケジュールの具体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業期間内に完了するよう実現性のある具体的スケジュールが提示できているか。</li> </ul>	5点
3 実施体制	35点	(1) 設計管理責任者の資格・主な経歴・同種業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な経験年数・資格を有しているか。</li> <li>・類似施設の実績があるか。</li> <li>・ノウハウ、経験を本業務に活かせる可能性が高いか。</li> </ul>	10点
		(2) 統括管理責任者等の資格・主な経歴・同種業務の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な経験年数・資格を有しているか。</li> <li>・類似施設の実績があるか。</li> <li>・ノウハウ、経験を本業務に活かせる可能性が高いか。</li> </ul>	10点
		(3) 体制の安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割分担が明確か。</li> <li>・連絡体制が整理されているか。</li> <li>・問題発生時の対応体制が明示されているか。</li> </ul>	10点
		(4) 工程管理能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館利用を考慮した工程となっているか。</li> <li>・安全管理の考え方が整理されているか。</li> <li>・学校行事等への配慮があるか。</li> <li>・工期遵守のための工夫が示されているか。</li> </ul>	5点
4 維持管理・保守	20点	(1) 保守計画の具体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期利用に即した点検頻度、方法、費用が明確か。</li> <li>・消耗部品の管理方針が示されているか。</li> <li>・連絡体制が明確か。</li> </ul>	10点
		(2) 故障対応体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の対応体制が明確か。</li> <li>・地域拠点もしくは連携できる拠点はありますか。</li> <li>・連絡体制が明確か。</li> </ul>	5点
		(3) ランニングコスト配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持費低減の工夫があるか。</li> <li>・更新周期への配慮があるか。</li> </ul>	5点
5 地域貢献	5点	(1) 地元企業活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内、宮古釜石管内企業の参画が具体的か。</li> <li>・役割が明確か。</li> <li>・地域雇用への配慮があるか。</li> </ul>	5点
6 リスク対応	15点	(1) 想定外対応力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存施設特有のリスク（高天井・既存電気容量・工期遅延・災害時共用等）が把握できており、その対応策及び事業者間でのリスク分担が明確になっているか。</li> </ul>	15点
7 経済性	10点	(1) 費用の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費用は適切か。</li> </ul> ※参加者の見積価格を基にした算定による。	10点

**合計 点 / 180 点**